

図書館へ行こう

～図書館の配架と本の種類～

肢体不自由 小学6年
国語「図書館へ行こう」
利用指導・資料の活用

ねらい

- 学校図書館、公共図書館の使い方を比べ、公共図書館の使い方が分かり、利用することができる。
- 資料の配架が分類番号（本の種類）ごとになっていることを知り、さまざまな本に興味を持つことができる。

学 習 展 開

- ① 学校図書館、鳥取県立図書館、米子市立図書館の配架マップを比べ似ているところを見つける。
- ② 図書館の配架が日本十進分類法により整理されていることを知る。
- ③ 分類クイズをすることで、分類番号と本の種類を確かめる。
- ④ これから必要になる本が学校にない時、公共図書館の利用の仕方を知り、本校図書館からリクエストする。

準備するもの

- ・配架マップ
鳥取県立図書館
米子市立図書館
皆生養護学校図書館
- ・分類表示・本の表紙カード



- ・リクエストカード
- ・パソコン
- ・ブックリストにある本

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は司書教諭と相談し、授業に活用する資料（0類～9類の本を各3冊ずつ）を準備する。
- 学校司書は授業の参考となる本を準備する。
- 司書教諭は、ねらいにそって授業を計画する。
- 司書教諭と担任はワークシートの形式について話し合う。
- 司書教諭と担任で授業をし、資料は学校司書が保存する。

★指導のポイント

- ◆ どの図書館もNDCによって本を整理していることが確認できる。
- ◆ 分類クイズをする際、表紙のみで判断できない時は本を使って内容を確認する。
- ◆ 教科書にある施設が米子市にあることを伝える。

資料

「図書館へいこう」シリーズ1, 2, 3 赤木かん子「図書館へ行こう」シリーズ
「図書館クイズ」山形鶴岡市立朝陽第一小学校
クイズで使用した本については別紙ブックリスト参照